

大項目		中項目		小項目	回答
1	基本仕様	1	共通	1 操作者のユーザーID（職員コード）とパスワードの入力で利用可能なこと また、パスワード変更が可能なこと	
1		1		2 パスワードは暗号化を可能とし、マスターメンテナンス画面やデータベース直接参照でも読み取りできない状態にすることが可能なこと	
1		1		3 指紋認証を利用してログインが可能なこと	
1		1		4 初期画面に掲示板を備えてあること。また利用者ごとに既読・未読の管理が行えること	
1		1		5 機密保護機能（職員コードとパスワードの妥当性チェック、職員の職制に応じた業務メニューの限定、職員の職制に応じた機能の制限）を有すること	
1		1		6 パスワードは、操作者以外にはわからないようにすること。また、随時画面上で変更が可能なこと	
1		1		7 パスワードは、有効期限の管理が可能なこと。有効期限が切れた場合は、システムにログインができないこと	
1		1		8 一定期間が経過したパスワードは、変更を要求する督促が可能なこと。また督促時にパスワードの変更が可能なこと	
1		1		9 操作者情報（氏名、所属、部署）は常に画面に表示してあること	
1		1		10 操作者情報は、ログインした職種ごとに色分けされ、指示医選択後でも視覚的に認識しやすいこと	
1		1		11 指示医選択はカルテを開く際に選択するか、オーダー等医師の承認が必要な行為を行う際に選択するか、医療機関の運用ポリシーに合わせ柔軟に設定可能なこと	
1		1		12 選択した指示医は、目的の操作や機能画面終了時に指示医選択状態を解除し、意図しない指示医で登録されないよう配慮されていること。指示医の選択解除は病院の運用に合わせて容易に変更可能なこと	
1		1		13 端末離席時に、コンピュータをロックし他者の不正アクセスを防ぐことが可能であること。またロックした操作者は画面に表示されること	
1		1		14 業務に支障を出さない為、必要時はロック者以外が強制的にロックの解除が可能なこと	
1		1		15 強制ロック解除を行った時は、ロック解除時間・ロック解除者情報と、開いていたカルテの患者情報をロック者へ伝達可能なこと	
1		1		16 ログイン後、一定時間無操作の場合、自動ログアウトが可能なこと	
1		1		17 自動ログアウトの際、未登録の一時データがある場合の動作を設定で指定できること	
1		1		18 自動ログアウトとなったとき、ログインしていた職員へ、伝達機能で自動ログアウトされたことが伝達されること	
1		1		19 医師が2つ以上の科に所属するとき、再ログインすることなく科の変更することが可能なこと	
1		1		20 現日時を常に表示でき、一定時間無操作であれば、自動的にロック可能なこと	
1		1		21 各業務は機能ボタン、またはメニューバーから選択可能なこと	
1		1		22 メイン画面・カルテ画面の上部メニューは、キーボードによるショートカットキーを用いて操作負担を軽減可能なこと	
1		1		23 メイン画面・カルテ画面の機能ボタンは、マウスのホイール機能と連動していること	
1		1		24 ボタン表示順を、職員ごとに設定可能とし、どの端末でも同じ表示順になること	
1		1		25 機能ボタンに親子関係を持たせ、親ボタン押下時に子ボタンを表示可能なこと	
1		1		26 操作者ごとに良く使う機能ボタンを固定表示可能とすること	
1		1		27 操作者が、よく使う機能ボタンのみを表示することが可能なこと	
1		1		28 患者（外来、入院）の一覧表示が可能なこと。また一覧表示から直接患者選択が行えること	
1		1		29 外来患者一覧・入院患者一覧はタブで表示され、簡単に切り替え可能なこと	
1		1		30 外来患者一覧を複数起動可能とし、異なる予約項目ごとにタブから切り離し、別ウィンドウで同時参照可能なこと	
1		1		31 外来患者一覧にて、複数のタブを展開している状態を操作者ごとに記憶可能なこと。また次回ログイン時に前回終了時の状態でタブが展開され、即座に業務に入れること	
1		1		32 外来患者一覧、入院患者一覧、ベッドボードイメージをタブから切り離し、別ウィンドウで同時参照可能なこと	
1		2	患者検索	1 患者検索では文字検索が可能なこと。カナ・漢字での検索が完全一致だけでなく、検索語を含む等の条件も指定可能なこと	
1		3	外来患者一覧	1 外来患者一覧表は、以下の機能を有すること	
1		3		2 ・日付を選択することにより、該当日の表示に切り替わること	
1		3		3 ・操作者が医師の場合、担当する予約項目のスケジュールを表示すること	
1		3		4 ・当該患者のカルテを開くことなく、検体検査の進捗状況を表示することが可能なこと	
1		3		5 ・上記機能からカルテを開くことなく、検査結果が参照可能なこと	
1		3		6 ・当該患者のカルテを開くことなく、画像生理検査の進捗状況を表示することが可能なこと	

大項目	中項目	小項目	回答	
1	3	7	・上記機能からカルテを開くことなく、画像結果が参照可能なこと	
1	3	8	・医事システムでの受付情報（受付時間・受付番号・受診科）を表示すること	
1	3	9	・一覧表はシステム設定により、表示色の変更が可能なこと	
1	3	10	・受付後の患者待ち時間が一覧上で把握可能なこと	
1	3	11	・患者の初再診情報を一覧上で把握可能なこと	
1	3	12	・一覧上にて、患者に対するフリーコメントが編集可能なこと。また患者情報への反映も自動で行えること	
1	3	13	・患者の診察状況により、一覧行色が色分けされて表示可能なこと (診察状況は、未来院、診察待ち、診察一時終了、診察終了、キャンセルの区分け)	
1	3	14	・患者の診療状態区分は、医療機関の運用に合わせ最大10個まで任意の区分を設定可能なこと。また各区分に対して表示色を設定可能なこと	
1	3	15	・診療状態区分は、医療機関が確認が容易な名称へ変更可能なこと	
1	3	16	・外来患者一覧から「受付」が処理が可能なこと	
1	3	17	・外来患者一覧から、ワンクリックで患者の簡易的なサマリーが表示可能なこと。またワンクリックで編集画面を展開可能なこと	
1	3	18	・外来患者一覧の表示順を表示項目のクリックでソート可能なこと	
1	3	19	・フォントサイズと種類変更がサブ画面を開かずに可能なこと。カルテ以外の子画面にフォントサイズが引き継がれること	
1	3	20	・画面表示色の変更がサブ画面を開かずに可能なこと。全ての画面に画面表示色が引き継がれること	
1	3	21	・離席機能をワンクリックで起動可能なこと	
1	3	22	・外来患者一覧は、機能ボタン等を非表示にして画面に一覧の全画面表示が可能なこと	
1	3	23	・部門照会において、オーダー進捗ごとに背景色が自動変更されること	
1	3	24	・患者IDを直接指定することで、各科受付の対応が可能なこと。また同時に案内票の出力が可能なこと	
1	3	25	・一定間隔で外来患者一覧が自動更新されること	
1	3	26	・外来当日の自科オーダー進捗（処方、注射、検査、放射線、生理、内視鏡、汎用）を確認可能なこと。	
1	3	27	・手術予定日時、術式、手術室を確認可能なこと	
1	3	28	・外来患者一覧の同姓同名は当日の外来患者間でチェックできること	
1	3	29	・一覧の内容をCSV出力可能なこと	
1	3	30	・カルテ起動した患者を患者番号入力欄に履歴表示可能とし、履歴から患者を選択することで、その患者のカルテを起動できること	
1	4	入院患者一覧	1	入院患者一覧表は以下の機能を有すること
1	4		2	・病棟および診療科を選択することにより入院患者一覧、入院予定患者一覧、転入予定患者一覧を表示すること
1	4		3	・医師・看護師だけでなく患者に登録されている医療スタッフまで、担当患者の絞込みが可能なこと
1	4		4	・日付を選択することで選択日の退院患者を表示可能なこと
1	4		5	・当該患者のカルテを開くことなく、検体検査の進捗状況を表示することが可能なこと
1	4		6	・当該患者のカルテを開くことなく、検査結果が参照可能なこと
1	4		7	・当該患者のカルテを開くことなく、画像生理検査の進捗状況を表示することが可能なこと
1	4		8	・当該患者のカルテを開くことなく、画像結果が参照可能なこと
1	4		9	・病棟フロアイメージで入院患者一覧が表示されること
1	4		10	・一覧表はシステム設定により、表示色の変更が可能なこと
1	4		11	・患者の入院状況により、一覧行色が色分けされて表示可能なこと (入院状況は、在院、退院予定、退院予定日過、店頭予定、外出・外泊の区分け)
1	4		12	・入院患者一覧上から年齢、生年月日、入院日数（入院日からの経過日数）を確認可能なこと
1	4		13	・入院患者一覧上から、患者の担当看護師の氏名を確認可能なこと
1	4		14	・入院患者一覧上から、服薬指導の有無および、服薬指導依頼日が確認可能なこと
1	4		15	・入院患者一覧上から、手術予定日、術式を確認可能なこと。また術式が複数ある場合でも確認可能なこと
1	4		16	・入院患者一覧上から、簡易な患者状況をフリー入力（最大全角20文字）・表示可能なこと

大項目	中項目	小項目	回答
1	4	17	・指示変更が発生した患者にマーク表示が可能なこと
1	4	18	・入院患者一覧から、ワンクリックで患者の簡易的なサマリーが表示可能なこと。またワンクリックで編集画面を展開可能なこと
1	4	19	・入院患者一覧の表示順を表示項目のクリックでソート可能なこと
1	4	20	・フォントサイズと種類変更がサブ画面を開かずに可能なこと。カルテ以外の子画面にフォントサイズが引き継がれること
1	4	21	・画面表示色の変更がサブ画面を開かずに可能なこと。全ての画面に画面表示色が引き継がれること
1	4	22	・離席機能をワンクリックで起動可能なこと
1	4	23	・入院患者一覧は、機能ボタン等を非表示にして画面に一覧の全画面表示が可能なこと
1	4	24	・過去日を指定し、指定日時点での在院状況を表示可能なこと
1	4	25	・操作者ごとに一覧の表示順が管理可能なこと
1	4	26	・入院患者一覧に、感染症フリーコメントが表示可能なこと
1	4	27	・感染症について陽性となっている場合、一覧の該当患者の文字色の変更されること
1	4	28	・一覧の内容をCSV出力可能なこと
1	4	29	・カルテ起動した患者を患者番号入力欄に履歴表示可能とし、履歴から患者を選択することで、その患者のカルテを起動できること
1	4	30	・特定の病棟・病室について現在の病棟・病室に「転棟・転室」から何日が経過しているかを表示可能なこと
1	5	救急患者一覧	1 救急患者一覧が用意されていること
1	5		2 救急患者一覧は以下の機能を有すること
1	5		3 ・該当患者を検索する機能を有していること
1	5		4 ・科、来院経路、トリアージ区分、傷病名、コメントを登録可能なこと
1	5		5 ・救急患者一覧では、診療区分およびトリアージ区分で患者の絞り込みが可能なこと
1	5		6 ・救急患者一覧に登録されている患者の情報を更新することが可能なこと
1	5		7 ・救急患者一覧に登録されている患者を、一覧から削除が可能なこと
1	6	病床管理	1 入院患者は、ベッドボードイメージで表示可能なこと
1	6		2 ベッドボードの背景に、自由にビットマップを貼りつけ、実際の病棟イメージに合わせた表示が可能なこと
1	6		3 ベッドボードイメージは、自由に変更可能なこと
1	6		4 ベッド画面に、以下の患者情報が表示されていること。ワンクリックで詳細情報も表示可能なこと（ベッド番号・患者氏名・主治医・入院科・看護度・搬送区分・患者状態）
1	6		5 ベッドボードからカルテ画面が表示可能なこと。またカルテ以外の画面の起動も、設定で可能なこと
1	6		6 ベッドボードには、入院予定・退院予定の患者も一覧で表示されていること
1	6		7 ベッドボードは、科・主治医で絞り込みが可能なこと
1	6		8 ベッドボード画面は、入院患者一覧と同等の機能を有すること
1	6		9 ベッドボードはタブ表示とし、他の一覧画面（外来患者・入院患者）と同時に参照・操作が可能なこと
1	6		10 ベッドボードイメージは、機能ボタン等を非表示にして画面にフル表示可能に可能なこと
1	6		11 ワークベッド（一時退避領域）を用いて、転室・転棟操作が容易に可能なこと
1	6		12 緊急性の高い未指示受けのオーダーが存在している患者のベッドにアイコン表示可能なこと
1	7	病棟照会・部門照会	1 入院患者に対し、病棟を指定して以下のオーダー種について時系列で指示状態を簡易的に確認可能なこと（処方・検査・画像/生理・処置/汎用・注射・レジメン）
1	7		2 自担当患者の絞り込みが可能なこと。また病棟・科でも絞り込みが可能なこと
1	7		3 オーダー進捗状態は、【未実施】【発行・受付】【実施】【中止】が、マークで表示可能なこと
1	7		4 状態をクリックするだけで、指示の詳細内容が表示されること。また指示の受付・実施も可能なこと（運用検討で対象オーダーを検討が必要）
1	7		5 処方オーダーは処方区分を指定して表示可能なこと
1	7		6 表示されている一覧から、カルテ画面を表示可能なこと
1	7		7 病棟を指定しての検体検査の一括ラベル発行が可能なこと



大項目	中項目	小項目	回答
1	7	8 病棟を指定しての一括処方箋発行が可能なこと	
1	7	9 病棟照会・部門照会はタブ表示とし、他の一覧画面（外来患者・入院患者）と同時に参照・操作が可能なこと	
1	7	10 病棟照会・部門照会は、機能ボタン等を非表示にして画面に一覧の全画面表示が可能なこと	
1	7	11 部門照会において、オーダー進捗ごとに背景色が自動変更されること	
1	7	12 病棟照会の表示期間は職員ごとに管理可能であること	
1	7	13 部門照会画面から選択した結果について、ナビゲーション機能に登録可能なこと	
1	8 画像照会	1 画像オーダー／生理オーダー／内視鏡オーダーの一覧表示が可能なこと	
1	8	2 指示一覧は以下の項目で絞り込むことが可能なこと (入院・外来／依頼部署／検査日／実施状態／依頼科／検査種／検査室・患者番号)	
1	8	3 放射線部門システムが導入されていない場合でも、以下の機能を有し放射線部門業務が運用可能なこと。ただし画像システム（PACS）連携は、別途調整が可能なこと	
1	8	4 ・画像照会から検査部門の受付業務が可能なこと	
1	8	5 ・検査日の確定していない画像検査・生理検査の予約日指定が可能なこと	
1	8	6 ・放射線・検査部門で、緊急の事後オーダー入力が必要なこと。その時はオーダー指示画面と同じ画面を表示しコメント等も入力可能なこと	
1	8	7 ・緊急の事後オーダー入力時は、予約連動項目でも即実施状態で入力可能なこと	
1	8	8 ・患者状態により、放射線・検査部門の技師判断で、オーダーの中止業務が可能なこと	
1	8	9 画像照会はタブ表示とし、他の一覧画面（外来患者・入院患者）と同時に参照・操作が可能なこと	
1	8	10 画像照会は機能ボタン等を非表示にして、画面に一覧の全画面表示が可能なこと	
1	8	11 画像照会において、オーダー進捗ごとに背景色が自動変更されること	
1	8	12 一定間隔で一覧画面が自動更新されること	
1	8	13 画像照会画面から選択した結果について、ナビゲーション機能に登録可能なこと	
1	8	14 レポートの未読・既読を一覧で参照可能なこと	
1	8	15 画像照会画面上で検査日を期間指定して照会することが可能であること	
1	9 空床照会	1 ベッド管理のため、空きベッド状態を参照可能なこと	
1	9	2 ベッドの空き状態は病棟単位で視覚的に分かるよう、1か月分をマップ形式で表示可能なこと	
1	9	3 日付単位で入院患者数が表示されていること。また、過去にさかのぼって入院患者数を把握することも可能なこと	
1	9	4 日付を指定して、空床数・入院患者数・退院患者数・転入患者数の表示が可能なこと。また、患者の詳細情報が表示可能なこと	
1	9	5 日ごとにベッドの稼働率を表示していること	
1	10 カルテ画面	1 紙カルテからの移行を考慮し、カルテ画面はカルテ2号紙イメージで、診療記録領域とオーダー指示領域とが分かれて表示すること	
1	10	2 過去カルテの参照は、日ごとに簡単に切り替えが可能なこと	
1	10	3 カルテ画面には患者の過去のオーダー履歴を表示し、ドラック&ドロップで流用（DO）可能なこと	
1	10	4 カルテ画面には入力したオーダーの情報を表示すること	
1	10	5 オーダー入力方法はDO入力、フォルダーウィンドウからのセット入力、各種オーダー入力ウィンドウからの新規入力の3種類以上の入力方法を可能とすること	
1	10	6 過去のカルテ画面に表示されているオーダー内容を容易に流用（DO）可能なこと	
1	10	7 表示されている情報に関して、そのオーダーに応じた編集作業が可能なこと	
1	10	8 カルテ画面は、依頼日ベース又は実施日ベースでオーダー情報・診療記録情報を表示可能なこと	
1	10	9 オーダー指示欄の表示は、依頼日／実施日で表示を切り替えることが可能なこと。表示の切り替えは、カルテ画面内でワンクリックで可能であり、即時反映されること	
1	10	10 他端末で同一患者のカルテが開かれた時、カルテ同時参照中が分かるメッセージが表示されること	
1	10	11 他端末で更新のあったオーダー情報を、画面を閉じないでワンクリックでカルテ画面へ反映可能なこと	
1	10	12 未来日に実施するオーダー情報を集約して表示可能なこと	
1	10	13 当日カルテと過去カルテを別ウィンドウで同時参照が可能なこと	
1	10	14 当日カルテを参照しながら、各種オーダー指示画面を別ウィンドウで同時操作可能なこと	

大項目	中項目	小項目	回答
1	10	15	オーダー記載欄を、入院時情報のみ表示と外来時情報のみ表示の指定が可能なこと
1	10	16	オーダー記載欄を、自科・全科・任意の複数科で指定可能なこと
1	10	17	カルテ画面の診療記録欄を、入院時情報のみ表示と外来時情報のみ表示の指定が可能なこと
1	10	18	カルテ画面の診療記録欄を、入力した職種で指定可能なこと。また職種は複数指定が可能なこと
1	10	19	カルテ画面の診療記録欄を、自記録のみ表示を可能とすること
1	10	20	診療記録、オーダーの仮登録（事前登録）が可能なこと
1	10	21	仮登録（事前登録）データは、ワンクリックで登録、流用が可能なこと
1	10	22	仮登録（事前登録）データ登録時に、データの公開・非公開を指定可能なこと
1	10	23	仮登録（事前登録）データを集約して表示可能なこと
1	10	24	仮登録（事前登録）データが登録されている場合、登録有りを示す記号をカルテ画面上に表示し、一目で確認可能なこと
1	10	25	仮登録（事前登録）データが非公開の場合は記号を表示しないこと
1	10	26	仮データ登録（事前登録）機能は、職制により利用権を設定可能なこと
1	10	27	仮データ登録（事前登録）後でも、公開範囲の設定が変更可能なこと
1	10	28	仮データが複数登録されている場合、個別にデータの流用、削除が可能なこと
1	10	29	医師が2つ以上の科に所属するとき、再度カルテ起動することなく科を変更することが可能なこと
1	10	30	オーダー記載欄、診療記録欄を保険情報による表示指定が可能なこと
1	10	31	権限を持つ職員は、オーダー編集画面を開かずに保険情報を変更可能なこと
1	10	32	医師が、自分で登録したデータのみオーダー記載欄に表示可能なこと
1	11	カルテレイアウト変更機能	1 カルテ内のサブウィンドウに診療支援の為、以下の情報が表示可能なこと ・DO領域情報 ・指示簿情報 ・予約情報 ・病名情報 ・紹介状情報 ・他端末入力情報
1	11		2 診療記録の記載時間短縮のための、簡易入力ツールが実装されていること
1	11		3 カルテ画面内のサブウィンドウは、利用者ごとに初期表示項目・表示位置を設定可能なこと
1	12	DO領域	1 DO領域情報ウィンドウには、以下の機能を有すること
1	12		2 ・オーダー種ごとに表示していること
1	12		3 ・当日カルテへのドラッグ&ドロップ操作でDO操作可能なこと
1	12		4 ・右クリックメニューで、カルテ画面と同等の操作が可能なこと。オーダーの進捗により、修正・発行・削除・中止等が可能なこと
1	12		5 ・カルテ画面からサブウィンドウを切り離し、別ウィンドウとして拡大表示可能なこと
1	12		6 ・DO領域は、利用者ごとに表示位置・表示・非表示を自由に設定可能なこと
1	12		7 ・オーダー種ごとに表示内容の展開有無を設定可能なこと
1	13	指示簿領域	1 指示簿情報ウィンドウには以下の機能を有すること
1	13		2 ・指示確認・未確認で切り分けて表示可能なこと
1	13		3 ・ツリー形式で指示された全ての情報を表示可能なこと
1	13		4 ・指示確認された項目のみ、ドラッグ&ドロップでカルテ画面へのオーダー展開が可能なこと
1	13		5 ・カルテ画面からサブウィンドウを切り離し、別ウィンドウとして拡大表示可能なこと
1	13		6 ・指示簿領域は利用者ごとに表示位置・表示・非表示を自由に設定可能なこと
1	14	病名領域	1 病名情報ウィンドウには以下の機能を有すること
1	14		2 ・表示条件を設定可能なこと（有効病名/主病名、自科・全科、患者への告知保護）
1	14		3 ・表示病名をダブルクリックすると、病名が選択された状態で病名修正画面が表示されること
1	14		4 ・カルテ画面からサブウィンドウを切り離し、別ウィンドウとして拡大表示可能なこと
1	14		5 ・病名領域は利用者ごとに表示位置・表示・非表示を自由に設定可能なこと
1	15	紹介状領域	1 紹介情報ウィンドウには以下の機能を有すること

大項目	中項目	小項目	回答
1	15	2	・紹介医療機関名が表示されていること
1	15	3	・他医療機関への文書の返信状態が表示されていること
1	15	4	・カルテ画面からサブウィンドウを切り離し、別ウィンドウとして拡大表示可能なこと
1	15	5	・紹介状領域は、利用者ごとに表示位置・表示・非表示を自由に設定可能なこと
1	16	1	予約情報ウィンドウには以下の機能を有すること
1	16	2	・ワンクリックで当日のみ表示か、全ての予約表示か表示条件の変更が可能なこと
1	16	3	・予約日/予約科目を表示可能なこと
1	16	4	・カルテ画面からサブウィンドウを切り離し、別ウィンドウとして拡大表示可能なこと
1	16	5	・予約領域は、利用者ごとに表示位置・表示・非表示を自由に設定可能なこと
1	17	1	他端末情報ウィンドウには以下の機能を有すること
1	17	2	・同一患者を他の端末で操作した時、その端末情報を表示すること（端末名/操作者/部署）
1	17	3	・他の端末で操作しているオーダー情報が表示されていること（新規/修正/削除/中止されたオーダー情報）
1	17	4	・カルテ画面からサブウィンドウを切り離し、別ウィンドウとして拡大表示可能なこと
1	17	5	・他端末領域は利用者ごとに表示位置・表示・非表示を自由に設定可能なこと
1	18	1	簡易所見ウィンドウは以下の機能を有すること
1	18	2	・チェックボックスにチェックするだけで、簡単に所見登録が可能なこと
1	18	3	・所見内容はユーザーと協議の上、要望に合わせた設定が可能なこと
1	18	4	・カルテ画面からサブウィンドウを切り離し、別ウィンドウとして拡大表示可能なこと
1	18	5	・簡易所見領域は、利用者ごとに表示位置・表示・非表示を自由に設定可能なこと
1	19	1	簡易問診ウィンドウには以下の機能を有すること
1	19	2	・チェックボックスにチェックするだけで簡単に問診登録が可能なこと
1	19	3	・問診内容はユーザーと協議の上、要望に合わせた設定が可能なこと
1	19	4	・カルテ画面からサブウィンドウを切り離し、別ウィンドウとして拡大表示可能なこと
1	19	5	・簡易問診領域は利用者ごとに表示位置・表示・非表示を自由に設定可能なこと
1	20	1	カルテ内の機能ボタンを利用者ごとに表示順も含め設定可能なこと
1	20	2	カルテボタンへ表示する機能は、ユーザーと協議のうえ要望に合わせた設定が可能なこと
1	21	1	患者履歴について患者の来院履歴、予約状況、入退院履歴を表示すること
1	22	1	カルテ画面よりカルテ履歴画面が起動可能なこと。カルテ履歴画面には以下の機能を有すること
1	22	2	・オーダー日単位にオーダー種（実施、未実施）と診療記録の内容が一覧で把握でき、指示により明細も表示可能なこと
1	22	3	・オーダー種単位で集約して、複数日の詳細表示可能なこと
1	22	4	・診療記録は全記録、自記録のみの表示切り替えが可能なこと
1	22	5	・オーダー情報は全科、自科分のみの表示切り替えが可能なこと
1	22	6	・入院時情報のみ表示と外来時情報のみの表示切り替えが可能なこと
1	22	7	・カルテ画面起動時に、自動でカルテ履歴情報を起動可能なこと
1	22	8	・文字列検索が可能なこと
1	22	9	・複数のオーダー種を指定して参照可能なこと
1	22	10	・処方・注射オーダーにて、特定薬剤がオーダーされている場合、カルテ履歴画面にてマークが表示されること
1	22	11	・カルテ履歴画面に表示する特定薬剤のマークは、医療機関ごとで自由に指定可能なこと
1	22	12	・記載日単位に診療記録の内容が表題別に一覧で把握でき、指示により明細も表示可能なこと
1	22	13	・オーダー日単位にオーダーと診療記録の明細を表示可能なこと



大項目	中項目	小項目	回答
1	23 諸記録歴	1 カルテ画面より諸記録が起動可能なこと。諸記録には以下の機能を有すること	
1	23	2 ・記載日単位に診療記録の内容が表題別に一覧で把握でき、指示により明細も表示可能なこと	
1	23	3 ・表題ごとに集約して、複数日の詳細表示可能なこと	
1	23	4 ・全記録、自記録のみの表示切り替えが可能なこと	
1	23	5 ・入院時情報のみ表示と外来時情報のみ表示切り替えが可能なこと	
1	23	6 ・カルテ画面起動時に、自動で諸記録歴を起動可能なこと	
1	23	7 ・文字列検索が可能なこと	
1	23	8 ・複数の表題を指定して参照が可能なこと	
1	24 カルテカレンダー	1 患者の過去の受診歴をカレンダー形式で参照可能なこと	
1	24	2 カルテ画面より、カルテカレンダー画面が起動可能なこと	
1	24	3 カルテカレンダーは以下の機能を有すること	
1	24	4 ・操作者の任意で3か月表示/6ヶ月表示を、ワンクリックで切替え可能なこと	
1	24	5 ・カルテ記載がある日付にマークが付き、容易に把握可能なこと	
1	24	6 ・日付を選択することで、その日の内容をカルテ画面で確認可能なこと	
1	24	7 ・他科の記載がある場合、記号が色分け表示され容易に把握可能なこと	
1	24	8 ・入院期間、外来期間が色分け表示され容易に識別可能なこと	
1	24	9 ・入院日、退院日の日付が色分け表示されること	
1	24	10 ・オーダー種ごとに絞り込み表示が可能なこと	
1	24	11 ・診療記録は全職種、自記録、職制で表示の切り替えが可能なこと	
1	24	12 ・オーダー情報は全科、自科、指定した科、保険情報で表示切替が可能なこと	
1	24	13 ・カルテ画面起動時に、自動でカルテカレンダーを起動可能なこと	
1	25 薬歴	1 カルテ画面より薬歴画面が起動可能なこと。薬歴画面には以下の機能を有すること	
1	25	2 ・処方オーダー、注射オーダーの指示内容が時系列で表示されていること	
1	25	3 ・投与開始日、薬剤名、単位、用法手技は表示されていること	
1	25	4 ・患者の薬剤禁忌情報が表示されていること	
1	25	5 ・表示期間の変更が可能なこと	
1	25	6 ・実施/未実施の指定が可能なこと	
1	25	7 ・薬剤を指定して、DI表示が可能なこと	
1	25	8 ・一覧表示の形式を【薬剤用法で集約】、【RP単位で集約】、【薬剤名で集約】で切り替え可能なこと	
1	25	9 ・一覧表示は一日量とCP換算値を選択して表示可能なこと	
1	25	10 ・薬歴情報を印刷可能なこと	
1	25	11 ・処方オーダーについて、服用開始日、服用開始時間、用法に従い、実際に服用する量が表示されていること	
1	26 付箋紙	1 カルテ画面へ付箋紙を貼れること	
1	26	2 付箋紙には記載者・記載日を表示可能なこと	
1	26	3 付箋紙の色やフォント変更が設定可能なこと	
1	26	4 作成者の任意で表示職制、更新職制を指定可能なこと	
1	26	5 作成者の任意で表示可能職員、更新可能職員を指定可能なこと	
1	26	6 作成者のみ表示可能な付箋を作成できること	
1	26	7 作成者の任意で表示期間を指定可能なこと。また表示期間が過ぎた場合、カルテ上から自動的に非表示になること	
1	26	8 付箋紙の剥がし忘れを防止する目的で、予め表示期間を設定可能なこと。表示期間の設定は職種ごとに指定が可能なこと	

大項目	中項目	小項目	回答
1	26	9 定型文から付箋紙を作成可能なこと	
1	26	10 新規作成時、作成した職種に応じて自動的に、付箋紙の背景色が変わること	
1	26	11 付箋紙の更新時、更新者の職制に応じて自動的に背景色が変わること	
1	27 重要日	1 カルテ記載として重要な日をマークし付箋紙で記載可能なこと	
1	27	2 重要日付箋紙には記載者・記載日を表示可能なこと	
1	27	3 重要日付箋紙の色やフォント変更が設定可能なこと	
1	27	4 作成者の任意で表示職制、更新職制を指定可能なこと	
1	27	5 定型文から付箋紙を作成可能なこと	
1	27	6 新規作成時、作成した職種に応じて自動的に付箋紙の背景色が変わること	
1	27	7 付箋紙を更新した際、更新者の職制に応じて自動的に背景色が変わること	
1	28 統合セット	1 各種オーダー情報をセットとしてフォルダーに登録が可能なこと	
1	28	2 フォルダーには病院セット、科セット、医師セット、コメディカルセット、患者セットの分類が可能なこと	
1	28	3 病院セット、科セットには利用権があり、セットの作成や表示に制限を設けることが可能なこと	
1	28	4 病院セットは管理者のみ更新操作が可能なこと	
1	28	5 科セットは設定により他科のセットを参照／流用が可能なこと	
1	28	6 セット展開時に患者へ病名の自動登録が可能なこと。また病名のみの登録も可能なこと	
1	28	7 セット展開時に患者へ予め終了日を指定した病名の自動登録が可能なこと	
1	28	8 カルテ画面起動時に、自動でセット情報を起動可能なこと	
1	28	9 セットに登録されている文書作成オーダーの文書テンプレートが削除されていた場合、メッセージを表示しセットの再登録を促すことが可能なこと	
1	29 日本語入力	1 ATOK日本語入力（FEP）辞書がユーザーごとに管理可能なこと	
1	29	2 管理されたユーザー辞書ファイルは、システム立ち上げ時に利用者ごとでダウンロードされ、どの端末でも利用者ごとの辞書ファイルを設定することが可能なこと	
1	30 画面色	1 患者一覧系の画面色は、操作者ごとに6種類以上のパターンから自由に選択可能なこと	
1	30	2 画面背景色は医療機関との調整で色の追加が可能なこと	
1	30	3 画面背景色は色覚障害のある職員にも認識しやすい配色であること	
1	31 患者パネル	1 患者の性別によるピクトグラムを、患者パネルに表示可能なこと	
1	31	2 患者パネルの背景色で性別が分かること。また、性別不明も識別可能なこと	
1	31	3 患者パネルには患者保険情報を表示可能なこと。また保険切り替えを行った場合、切り替えた保険情報が各オーダー指示に引き継がれること	
1	31	4 ミドルネームが表示可能であること	
1	31	5 直前に開いた患者のカルテを、再度患者選択・患者IDから検索しなくても、ワンクリックで起動可能なこと	
1	31	6 出産予定日が入力されている患者は、妊娠週数を表示すること	
1	31	7 患者パネルには患者の禁忌情報などがアイコンで表示され、状況が一目で把握可能なこと	
1	31	8 患者パネルのアイコンは以下の項目について表示されること	
1	31	9 ・督促情報	
1	31	10 ・紹介情報	
1	31	11 ・感染情報	
1	31	12 ・障害情報	
1	31	13 ・一般アレルギー情報	
1	31	14 ・薬剤アレルギー情報	
1	31	15 ・食物アレルギー情報	
1	31	16 ・職員フリーコメント情報	



大項目	中項目	小項目	回答
1	31	17	・血液型（不規則抗体情報含）
1	31	18	・身長
1	31	19	・体重
1	31	20	・BMI
1	31	21	・受診科
1	31	22	・入外区分
1	31	23	・入院日
1	31	24	・在院日数
1	31	25	・病棟病室ベッド番号
1	31	26	・術後日数
1	31	27	・妊娠週数
1	31	28	・介護度
1	31	29	血液型の文字色を病院の任意で変更可能なこと
1	31	30	生年月日表示の西暦表示・和暦表示が可能なこと
1	31	31	処置（汎用）オーダー、病名オーダーで歯式入力した際、処置（汎用）、病名オーダーと連動し、患者パネルに歯科処置及び既往歴の有無がアイコンで表示されること
1	31	32	患者パネルのアイコンは、登録情報の有無により色分け表示され、把握が容易なこと
1	31	33	患者パネルのアイコンから、アレルギー情報や障害情報の編集画面をワンクリックで起動可能なこと
1	31	34	患者の麻薬使用有無が表示され、状況が一目で把握可能なこと
1	31	35	患者のワクチン情報が表示され、状況が把握可能なこと
1	31	36	同姓同名患者の有無を、カルテ画面上で容易に確認可能なこと
1	31	37	ツールチップで以下の情報を表示可能なこと
1	31	38	《入院予定患者一覧画面》 ・入院予定コメント ・入院予定日 ・入院予定依頼日、依頼科
1	31	39	《入院決定患者一覧画面》 ・入院決定日時 ・入院決定科、病棟、病室、ベッド ・入院決定依頼日、依頼科
1	31	40	《入院確認患者一覧画面》 ・入院確認日時 ・入院日数 ・入院中の科、病棟、病室、ベッド
1	31	41	《退院決定患者一覧画面》 ・入院確認日 ・入院日数 ・入院中の科、病棟、病室、ベッド ・退院決定日時
1	32	排他制御	1 複数の端末で同一患者のカルテを開いた時、該当端末の利用者にカルテ同時参照中が分かるメッセージを表示可能なこと
1	32		2 同一患者を開いている端末名と利用者は、全て参照可能なこと
1	32		3 同じオーダー項目に対して、修正・中止・削除等の操作を行った場合は、排他制御が掛かり、操作できない旨のメッセージを表示すること
1	32		4 他の端末で操作中のオーダー情報を参照できる機能を有すること
1	32		5 チェックが必要なオーダーは、他端末で入力中のオーダーもチェック対象とすること
1	32		6 同一患者のオーダーに更新が発生した時は、他の端末でデータ更新が発生した旨のメッセージが表示されること
1	32		7 カルテ画面を閉じずに、最新情報を表示可能なこと
1	32		8 他端末とのオーダーチェックにおいて重複などがあり、オーダー登録を取りやめた状態で、他端末の対象オーダーが登録されずにキャンセルされた場合は、オーダー登録がされていない旨を操作者に伝達可能なこと
1	33	ADL	1 医療区分、ADL区分の評価入力が可能なこと
1	33		2 入院元、退院先の入力が可能なこと
1	33		3 指定した期間の評価内容をコピー可能なこと
1	33		4 医療区分ごとの項目名称及びADL区分ごとの項目名称がユーザ操作で変更可能なこと
1	33		5 ADL評価表を出力可能なこと
1	33		6 患者の保険、病名、汎用オーダーの状態に応じて医療区分の自動入力が可能なこと

大項目	中項目	小項目	回答
1	33	7 看護機能で入力した褥瘡データの取り込みが可能なこと	
1	34 その他	1 自費・自賠・労災の保険については、保険指定により該当カルテのみが表示されること	
1	34	2 カルテに表示されているテキストは、任意に選択した範囲をクリップボードにコピーが可能なこと。また患者名を選択した場合は、患者氏名、患者番号、性別、生年月日がコピー可能なこと	
1	35 見舞客案内	1 面会区分（電話のみ、家族のみ）の管理が可能であり、選択内容により背景色を変更し、容易に確認が可能なこと	
1	35	2 面会区分について、前回入院時の情報を引き継げること	
1	36 データ復元	1 診療記録やオーダーを入力中に不慮の事態でシステムがダウンした場合でも、次回システム起動時に入力中だったデータを復元可能なこと	
1	36	2 復元データがある患者のカルテを起動する際、復元データがある旨のメッセージを表示すること	
1	36	3 データの復元は、操作者の任意で行えること	
1	36	4 データの復元および削除の前に、復元対象のデータの内容を確認可能なこと。その上で復元か削除かを選択可能なこと	
1	36	5 排他制御機能と連動し、他職員が対象データを操作中または該当データが登録済みなどの状況をチェックする機能を有していること	
1	36	6 他職員が入力していたデータの復元がおこなえること。またその際、更新端末は復元をおこなった端末、更新時間は復元を行った時間となり、真正性を担保可能なこと	
1	37 血糖管理一覧	1 指示簿機能で登録されている各種指示のうち、血糖コントロールに関連する指示が行われている患者と内容を表示可能なこと	
1	37	2 入院病棟、病室、チームで絞り込み可能なこと	
1	37	3 一覧に病室、ベッド、患者ID、患者氏名、チーム、指示科、指示医、指示区分、条件、区分、内容、コメント、指示開始日、指示終了日、確認者を表示可能なこと	
1	37	4 一覧表示している患者をダブルクリックすると、カルテ画面を起動可能なこと	
1	37	5 血糖管理一覧表(帳票)を出力可能なこと	
2 患者診療情報の時系列一覧表示機能（メディカルシート）	1	1 診療記録、看護記録、看護計画、各種オーダー情報を時系列に参照可能なこと。また一覧画面上で新規オーダー登録や修正等の操作が可能であること	
2	1	2 時系列表示には判りやすいアイコンでオーダー有無が表示されること	
2	1	3 アイコンをクリックすると記録及びオーダー詳細内容が表示されること	
2	1	4 記録及びオーダー詳細内容の表示領域は、任意で非表示にすることが可能なこと	
2	1	5 一覧表より各種オーダーの追加・修正・削除が可能なこと	
2	1	6 未来日の予約情報も表示されること	
2	1	7 バイタル情報も同時に表示可能なこと	
2	1	8 診療記録・看護記録・看護計画・各種オーダー情報が自科分と全科分の表示切替が可能なこと	
2	1	9 入院／外来診察の表示が時系列（日別）に把握可能なこと	
2	1	10 診療記録、各種オーダー、看護記録などの表示形式は、操作者ごとに設定可能なこと	
2	1	11 診療記録・看護記録・看護計画・各種オーダーの詳細情報を、日ごとやオーダー種ごと、任意の選択により集合表示可能なこと	
2	1	12 診療記録・看護記録・各種オーダーなどにおいて、実績または予定のある日付ハワンクリックで移動が可能なこと	
3 患者サマリー機能	1	1 現病歴など患者状態を一目で把握できる情報を登録・参照可能なこと。また登録した内容が、カルテを開いた時に自動表示されるよう操作者ごとに設定、変更可能なこと	
3	1	2 簡易サマリ情報として、科別情報・全科共通情報の簡易サマリー（現病歴）を登録、参照可能なこと。登録したサマリ情報は変更履歴を持つこと	
3	1	3 患者情報として、属性・身体情報・入院歴・感染症情報・禁忌情報・アレルギーなどの患者情報を登録参照可能なこと	
3	1	4 食事・薬物・運動などの情報を登録参照可能なこと。また登録情報の種類は上記以外の情報へ変更可能であること	
3	1	5 登録された簡易サマリ情報はカルテを開くことなく外来患者一覧・入院患者一覧等で参照可能なこと	
4 機能ボタンとメニュー	1	1 職種、操作者ごとに機能ボタン（メニュー）は設定・変更可能なこと	
4	1	2 メニューは階層型メニューも可能なこと	
4	1	3 メニューを固定部と可変部に分け、よく使う機能は固定部にて管理でき、常に表示可能なこと。また、利用者ごとに設定可能なこと	
4	1	4 操作者が、よく使うボタンだけを表示することが可能なこと	
5 診療情報（カルテ・オーダー情報）データ検索・抽出機能	1 多目的検索	1 診療情報（カルテ・オーダー）の検索用のデータベースをリアルタイムに作成・検索すること（例：病名と特定薬剤処方患者検索等）	
5	1	2 検索用データベースに蓄積されたデータを任意に抽出可能なこと	

大項目	中項目	小項目	回答
5	1	3 抽出条件は保存可能なこと。また保存した抽出条件を職員間で流用可能なこと	
5	1	4 検索結果をCSVファイルに出力可能なこと	
5	1	5 使用制限が可能なこと	
5	1	6 使用履歴を採取し不正使用抑制が可能なこと	
6 伝達・患者/職員グループ機能	1 伝達事項機能	1 伝達事項送受信機能（簡易メール機能）が電子カルテに組み込まれていること	
6	1	2 伝達事項送受信機能は、電子カルテにログインせずとも使用可能なこと	
6	1	3 職員個人/職種/科/部署/任意のグループなどへメールを送信可能なこと	
6	1	4 複数の送信先をあらかじめ組み合わせでメールリストとして保存可能なこと。	
6	1	5 メールには患者カルテを関連させて送信可能なこと。受信者はメール画面から関連したカルテ（オーダー）画面を開くことが可能なこと	
6	1	6 メール着信のポップアップ表示が可能なこと	
6	1	7 送信者が受信者の、メールの未読/既読管理が可能なこと	
6	2 コミュニケーションフォルダー機能	1 任意の目的（特殊症例・NST・面会謝絶・退院サマリー未作成など）で患者をフォルダー管理可能なこと	
6	2	2 フォルダーは院内共通と操作者用に区別して管理可能なこと	
6	2	3 院内共通のフォルダーは職員間で共有可能なこととし、患者伝達事項の有無及び未読/既読を管理可能なこと	
6	2	4 操作者用のフォルダーは操作者が自由にフォルダーを作成でき、操作者自身のみ参照可能なこと	
6	2	5 各患者に対してコメントを登録可能なこと。同一患者が別フォルダーに登録されている場合は、フォルダー別でコメント登録が可能なこと	
6	2	6 作成したフォルダは、操作者が任意で並べ替えが可能なこと	
6	2	7 フォルダのコピーが可能なこと。フォルダ階層や担当職員の情報を任意で選択しコピーが可能なこと	
6	2	8 クリティカルパス適用患者に対し、適用パス名称、開始日を表示可能なこと	
7 カルテ参照ログ、VIPカルテ	1 参照ログ	1 カルテ記載以外に、システムの参照履歴が取れること。また参照履歴には、以下の項目をログとして保持すること	
7	1	2 ・システム起動と終了情報	
7	1	3 ・カルテの起動と終了情報	
7	1	4 ・カルテ印刷情報	
7	1	5 ・一覧画面からの直接入院情報/患者移動情報の更新情報	
7	1	6 ・一覧画面からの直接検査結果参照情報	
7	1	7 ・一覧画面からの直接病名参照	
7	1	8 参照ログの抽出は以下の条件で可能なこと ・対象日付（FROM-TO） ・時間 ・患者番号 ・操作者 ・指示医	
7	2 VIPカルテ	1 特定の患者（VIP患者）に対し、興味本位でその情報を、診療に関係の無い場面で不正に得ようとする操作を制限できるような機能や工夫がなされていること	
7	2	2 特定患者への設定は利用権を持った職員のみが任意に設定可能とすること。ただし利用権限を職員へ付与する設定は、管理者権限のある職員のみとすること	
7	2	3 患者一覧やオーダー指示画面では、患者氏名をダミー名称として表示する機能を有すること	
8 文書サマリー	1 文書サマリー	1 カルテの文書作成で登録された文書内容を一覧表示可能なこと	
8	1	2 患者番号・作成日・文書確定日・レポート登録日（PDF化して登録）・テンプレート名から検索可能なこと。また文書の確定/未確定を指定して絞り込みも可能なこと	
8	1	3 一覧表示された文書サマリーから、文書内容の表示が可能なこと。また、表示された文書は、修正不可なこと	
8	1	4 一覧表示された文書サマリーから、文書確定・確定取り消しが可能なこと	
8	1	5 一覧表示された文書からレポート登録（PDF）が可能なこと	
8	1	6 文書サマリーはタブ表示とし、他の一覧画面（外来患者・入院患者）と同時に参照・操作が可能なこと	
8	1	7 退院サマリーを作成可能なこと	
8	1	8 退院サマリーの作成状況を確認可能なこと	
8	1	9 カルテ画面が起動可能なこと	
9 外来管理機能	1	1 外来患者の治療・検査計画の作成が可能なこと	



大項目	中項目	小項目	回答
9	1	2 来院サイクルは当日を基準として2W、4W、3M、6Mで設定可能なこと	
9	1	3 検査項目は医療機関ごとで任意に登録可能なこと	
9	1	4 検査項目、来院予定間隔をセットとして登録可能なこと	
9	1	5 検査項目の登録は一覧から選択し登録可能なこと	
9	1	6 治療・検査計画は、あらかじめ登録したセットから簡便に登録可能なこと	
9	1	7 検査項目ごとに検査サイクルを登録可能なこと	
9	1	8 検査のステータスは「通常」、「緊急」、「中止」に登録可能なこと	
9	1	9 当日を基準とし次回の来院予定表をプリントアウトし患者へ渡すことが可能なこと	
9	1	10 カルテ画面を参照しながら治療・検査計画の作成が可能なこと	
10 簡易カルテ照会	1	1 サーバーに障害が発生しても、カルテの情報を参照が可能なこと	
10	1	2 簡易カルテ照会には以下の機能を有すること	
10	1	3 ・オーダーサーバーのシステムダウン時に、画面上でのオーダー情報を参照可能なこと	
10	1	4 ・オーダーサーバーのシステムダウン時に、画面上での診療記録を参照可能なこと	
10	1	5 ・オーダーサーバーのシステムダウン時に、画面上での指示簿を参照可能なこと	
10	1	6 ・オーダーサーバーのシステムダウン時に、画面上での検査結果を参照可能なこと	
10	1	7 ・オーダーサーバーのシステムダウン時に、画面上での患者情報を参照可能なこと	
10	1	8 ・表示範囲を設定可能なこと	
11 オンライン資格確認	1 基本	1 オンライン資格確認に対応していること	
11	1	2 医事システムで、共有フォルダに格納された同意ファイルを取り込むことが可能なこと	
11	1	3 資格確認端末に格納された薬剤情報、特定健診情報を、電子カルテシステムに取り込むことが可能なこと	
11	2 情報閲覧	1 有資格者が、電子カルテシステム上から患者の薬剤情報・特定健診情報の取得要求が可能なこと	
11	2	2 情報の取得要求は以下の条件を指定可能なこと	
11	2	3 ・特定健診情報、薬剤情報の指定を有資格者が任意に指定可能なこと	
11	2	4 ・薬剤情報は、期間を指定して取得可能なこと	
11	2	5 ・同意情報の取得日時を確認可能なこと	
11	2	6 要求した患者の薬剤情報・特定健診情報を、電子カルテシステム上で参照可能なこと	
11	2	7 要求した患者の診療情報・手術情報を、電子カルテシステム上で参照可能なこと	
11	2	8 取得した情報は、以下の内容を確認可能なこと	
11	2	9 ・取得した情報の履歴は一覧で表示可能なこと	
11	2	10 ・取得状況の進捗を確認可能なこと	
11	2	11 ・取得した情報の区分を確認可能なこと	
11	2	12 ・取得日時、取得期間（薬剤情報のみ）を確認可能なこと	
11	2	13 取得した情報の詳細内容を確認可能なこと	
11	2	14 確認した情報は、患者別のフォルダにPDFで格納可能なこと。格納した情報は、操作者の任意で参照可能なこと	
11	3 被保険者番号	1 医事システムより送信される被保険者番号について、枝番を含めて取り込み可能なこと	